



# 3月の園だより

令和5年3月1日

目黒区立八雲保育園 園長

散歩の出発前に水分補給のお茶を飲もうとしている2歳児クラスの子どもたちに「お兄さん・お姉さんはこぼさないで飲めるかな」と声をかけると「しょうずに飲めるよ、見ててね」と張り切ります。「わぁ～ 本当だ、誰もこぼしてない。もうすぐペンぎん組になるんだものね」とめいっばい褒めて子どもたちを見送った後の床には、所々お茶がこぼれていました。この時期、どのクラスでも就学や進級を心待ちにする子どもたちの思いが言葉や行動に表れています。お茶を拭き取っている瞬間もそんな姿を思い出し、微笑ましく幸せな気持ちになりました。

クラス懇談会では、保護者の方のお話からご家庭でのお子さんの様子を垣間見ることが出来ました。時には育児の中での“育てにくさ”に直面しながらも、それは順調な成長の証と受け止め、言葉かけ等様々な工夫を凝らしながら愛情深く、そして忍耐強く見守っていただいているからこそ、園でのびのび自己発揮する子どもたちの姿があることを実感しました。

早いもので、今年度も残すところ一か月となりました。3月10日（金）は『卒園お祝い会』を執り行います。28名の子どもたちが、ランドセルを背負って小学校に通う日を思い描きながら巣立っていきます。一つ大きくなる喜びを感じながら子どもたちが元気に就学や進級を迎えられるよう、引き続き援助していきます。

## 今月の行事予定

3歳児クラス懇談会

卒園お祝い会（5歳児クラス）

お店屋さんごっこ（2～5歳児クラス）

お別れ散歩（3・4・5歳児クラス）

\*年間行事計画から日程が変更となっています。

移動日（全園児）

お別れ会（全園児）

中旬 身体計測 避難訓練

## 来月の行事予定

入園・進級お祝い会（3・4・5歳児）

全体保護者会

中旬 身体計測 避難訓練

## 【お願い】

3月27日（月）より、進級するクラスで過ごします。衣類かご等の移動をしますので、24日（金）に使用する衣類以外は、23日（木）お迎え時に一旦お持ち帰りください。



## 仲間と共に育つ（5歳児クラス）

園庭で『ドロケイ』をしていると、ある子が「今まで言えなかったけれど、ドロケイのルールを誰か一人が決めるのはイヤなんだ」と言いました。その言葉に対して他児は「私はそう思わないよ。だって誰かが決めないといけないから」と意見が分かれ、保育士を含めて皆で話し合うことになりました。その結果「今度からは皆でルールを決めよう」という結論になり、解決した一場面でした。

しろくま組ではこれまでもクラスの約束事を決める時、友達に対しての話し方を考える時等にクラス全員で話し合ってきました。初めのうちは思いのままに話すだけの姿も見られましたが「〇〇ちゃんが話しているから聞こうよ」と促す子がいたり、友達の意見に耳を傾ける大切さに気付き、相手の気持ちを受け入れたりすることも出来るようになってきました。仲間と一緒に考える経験の積み重ねは、自信を持って自分の考えを言える姿や、友達の思いも認められる姿へとつながったと感じています。

保育園での生活も残り一か月です。クラスの活動や日々の遊びを思い切り楽しみ、一人ひとりが更なる自信を持って就学を迎えられるようにしていきます。





# ～大きくなった ぼくたち・わたしたち～



## めだか組（0歳児クラス）

以前は、園庭で探索をしている途中で保育士を振り返る姿からドキドキしている様子が伺えましたが、今では砂場での料理作りや植え込み探索等、興味を示した場所に自ら向かっています。“こんな見つけたよ” “こんなことも出来たよ” と、言葉は無くとも笑顔で楽しい気持ちを伝えてくれるようになりました。保育士に気持ちを受け止めてもらうことで安心して過ごし、身の回りのことへの興味が広がっています。



## あひる組（1歳児クラス）

半年前までは、ままごと遊びでも保育士が設定し、子どもたちを誘っていましたが、今では子どもたち自身のご馳走を作って「せんせーはい」とコップを手渡し「かんぱーい」と言いながらパーティーごっこを楽しんでいます。一人でじっくり遊んだり、保育士や友達と簡単なやり取りをする経験の中で“自分でやってみたい”と思う気持ちが育ったり、遊びのイメージが広がってきています。



## らっこ組（2歳児クラス）

井形ブロックを使った消防車やごみ収集車等の乗り物作りが盛んです。友達の作ったものを見て「同じように作りたい」と見よう見まねで作ろうとしています。一人で作るのが難しい時も、友達や保育士と一緒に作り上げることが出来ると満足そうな表情を見せています。一緒に遊びたい思い等を上手く伝えられない場面では、保育士が仲立ちし互いの思いを伝える援助をすることで、言葉でやり取りする楽しさや一緒に遊ぶ喜びを感じている子どもたちです。



## ぺんぎん組（3歳児クラス）

園庭に出ると友達とかくれんぼを始める子どもたちです。すぐに見つかってしまうのですが、友達と一緒に隠れるのが楽しくて、見つかってもケラケラ笑い合っています。翌日も「どうする、かくれんぼしようか」と相談してから遊び始めています。子どもたちは、好きな遊びを気の合う友達と一緒にすることで更に遊びが楽しくなることを知り、友達と遊ぶことが大好きになりました。



## いるか組（4歳児クラス）

子どもたちから「〇〇ちゃんと遊びたい」「一緒にやろうって約束していた」等の言葉が聞かれることがあります。それほど友達の存在が大きくなっていることが伺えます。保育士が「〇〇さんのことが大好きなんだね」と声をかけることで思うように関われない気持ちを汲むと、表情が和らぎ「（一緒に遊べるのを）待ってる」「後で一緒に遊ぼう」と素直な気持ちを言葉で表現しています。保育士の少しの援助によって、友達の気持ちも考えられる姿へと成長しています。

